

# 新春インタビュー トップの視点

# 水道に携わる誇りを胸に



高橋 礼 森田鉄工所 代表取締役社長

■1年を振り返って  
令和4年は時間の流れが速く、考えなければならぬことが足早に過ぎた。1年でした。その半面、5月に代表取締役就任してからお客様とのところを訪問する機会も多く、さまざまなアドバイスや激励の言葉を頂戴できたことは感謝の一言に尽きますし、さら

に精進していかなければならぬと改めて感じました。社業としても一定量の注文をいただき、年度末に向けてフル稼働の生産体制にあることは非常にありがたいことです。2020年から蔓延している新型コロナウイルスにより多くの企業が影響を受けている中、公共事業である水道の供給を止

めるわけにはいきません。社内においても感染や濃厚接触により社員が自宅待機せざるを得ない状況もありましたが、生産体制に大きな影響を受けることなく企業活動を続けることができました。何より社員一人ひとりのおかげだと感じています。

昨年は一昨年以上に原材が高騰することも

期もありましたが、自助努力で乗り越えました。材料の供給不足が社会から一日も早くなくなる年になってほしいですね。

■目線の変化を感じて  
まだがむしゃらな状態なのですが、目線にはこれまで以上に社員一人ひとりのことを深く考えるようになったと思います。鳥瞰的に組織や業界を見ることが必要だと痛感しています。現在は

社内環境を改善させる取り組みに着手しています。当社は製造業ですのでモノづくりが最もコアな部分ですが、私は営業部署だけを歩んできましたので、製造部署の社員の考えを深掘りしていきたいという思いがあります。各社員はそれぞれ製品

安定供給の継続が水道の使命であり、それに貢献していくことがわれわれの仕事だと考えています。バルブ一筋の専門メーカーですので、今後もバルブを究める姿勢をぶらさずに社業に取り組みます。2022年度上期は、設備の老朽化に伴うバルブの取替や整備に関する仕事が多く、かなり受注をいただきました。今年も発注の平準化などを進めていただき、年間

と、鋼材の再利用でコスト削減に役立つ、工場持ち込み修理による「バルブの工場再生」にも力を入れています。海外展開に関しては、近年はコロナ禍の影響もあって現地調査などが滞っていました。昨年は担当者が現地に行き、情報収集をすることができました。製品の耐久性が問題となっている地域です。現地の課題解決にわれわれが何をできるか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ

るか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ  
ます。安全な良い製品を提供し、更新需要にしっかりと応えられるよう、生産体制の強化をはじめメンテナンスや診断、サービス部門の強化、製造体制の充実を務めてアフターサービスをさらに強化させていきたいと考えています。具体的には今期からサービス課を再編したメンテナンス体制の強化を

# 声に耳を傾け共通認識を

に、需要に対する供給が少ない状態も見受けられました。当社の仕事では特にスクラップ価格の変動の影響が大きかったと思います。たとえ、小さなリング一つでもなければバルブは完成しないので、そうした面で材料入手に厳しさを感じた時

交換を開きました。今後も社員の話に耳を傾け、モチベーションが上がる働き方をできるようにしていきたいですし、働きやすい環境を作りたいと考えています。

■安定供給継続への貢献  
と、鋼材の再利用でコスト削減に役立つ、工場持ち込み修理による「バルブの工場再生」にも力を入れています。海外展開に関しては、近年はコロナ禍の影響もあって現地調査などが滞っていました。昨年は担当者が現地に行き、情報収集をすることができました。製品の耐久性が問題となっている地域です。現地の課題解決にわれわれが何をできるか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ

るか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ  
ます。安全な良い製品を提供し、更新需要にしっかりと応えられるよう、生産体制の強化をはじめメンテナンスや診断、サービス部門の強化、製造体制の充実を務めてアフターサービスをさらに強化させていきたいと考えています。具体的には今期からサービス課を再編したメンテナンス体制の強化を

と、鋼材の再利用でコスト削減に役立つ、工場持ち込み修理による「バルブの工場再生」にも力を入れています。海外展開に関しては、近年はコロナ禍の影響もあって現地調査などが滞っていました。昨年は担当者が現地に行き、情報収集をすることができました。製品の耐久性が問題となっている地域です。現地の課題解決にわれわれが何をできるか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ

るか考え、貢献できるようなしていきたいと思っ  
ます。安全な良い製品を提供し、更新需要にしっかりと応えられるよう、生産体制の強化をはじめメンテナンスや診断、サービス部門の強化、製造体制の充実を務めてアフターサービスをさらに強化させていきたいと考えています。具体的には今期からサービス課を再編したメンテナンス体制の強化を

2023年の抱負は、さらなる製品の品質向上と社員の幸福に努めることです。当社の製品を使用していただき、モリタの製品は安心だと思っただけでなく、商品の不適合を極力減らし、会社全体で切磋琢磨していきたいと考えています。個人としては健康管理を心掛けたいですね。先日は子供と遊んでいて急に走った時に足の肉離れを起こしてしまいました。(苦笑)。ある本に、「社長業で第一にするべきことは健康管理だ」と書かれており、自身が自分の身体をどれだけ管理できているか振り返ったときに、まだまだできていないと反省しました。仕事では時にストレスを感じることもありすが、体を動かして心を穏やかに、健康的にストレスを解消していきたいと思